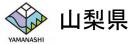
資料 1.2

令和7年度 山梨県建設工事 総合評価実施要領等の 一部改定について

令和7年3月13日 山梨県総合評価委員会 県土整備部 技術管理課



総合評価実施要領等の改正概要



総合評価に関わる事項を下記のとおり一部改正し、令和7年4月1日以降に公告する案件に適用する。

主な改正事項

【評価項目】

(1)「技能者の登録」の発展的な解消 建設キャリアアップシステム(CCUS)への技能者登録の評価について、導入から5年が経過し、事業者、技能者ともに一定の基本登録が進んでおり、R6.7月からCCUS活用モデル工事を実施したことにより、システム活用を促進できるため評価項目を解消する。

【意見聴取事務手続き】

(2)意見聴取事務手続き(技術管理課、出先機関)の簡素化(様式1、様式3、様式5の削除)

総合評価落札方式における標準型・高度技術提案型の意見聴取事務手続きについて、簡易型・特別簡易型 の手続き方法に統一し事務の簡素化を図る。(任意様式)

①総合評価落札方式活用協議 (案件一覧表、説明図面) 簡易型 意 技 ②意見聴取結果回答 特別簡易型 見 (案件一覧表(委員サイン入)) 工 聴 術 事 ①総合評価落札方式活用協議 取 発 (様式1、案件一覧表、説明図面) 事 管 注 務 事 ②意見聴取(1回目)結果回答 標準型 (様式3、案件一覧表(委員サイン入)) 理 務 0 高度提案型 手 所 ③評価調書の提出(任意様式、評価調書) 続 課 专 ④意見聴取(2回目)結果回答(様式5、評価調書(委員サイン入))

R7.4 ഥ ≀ 技術管理課

箈 評価格1 ₹ίΫ カゴ 式の頃(事実施に) 制制 公司を行うのである。 に解り消 A

目質 ₽ 业 Ö 灎 鼒 • 华 ИŅ 荊 -企業の取組 1 「技能者の登録」

〈横筒〉・技能者の保存用する仕組みと・県内の普及が 有と促 画資格・社会 てして、「強 に進のため、 拉 会 到 (保険加入状況や現場の就業履設キャリアアップシステム (総合評価落札方式による入札 |履歴などを業界横断的に |、(CCNS)| の活用を描 | れにおいて「CCNSへの 登進登 龊 • 쎎 慧 \wedge 巡

を評価項

〈経緯〉
・ 平成31年4月
・ 中成31年上期
・ 令和元年上期
・ 令和2年1月
・ 令和2年4月
・ 令和2年4月
・ 令和3年4月
・ 令和5年4月 全国でCCUSの運用開始 CCUSの普及拡大に向けて、総合評価項目の活用を検 県土整備部の土木一式工事を対象に評価を実施 新型コロナウイルス感染拡大の影響により評価を停止 評価を再開 評価対象を全部局、全工種に拡大 CCUS活用モデル工事実施(R6:39件) 強討 (知事協議)

経緯・現状

〈現状評価内容〉 ・CCUSに企業とE (自社に技能者の

評価基準 建設キャリアアップシステム へ企業と技能者の登録あり 0 2

ŌШ

9社の技能者を3)雇用がない場合

F登録済 場合企業(

97

\$ 6 F

ctt ev

製金

や評価

V 150%

SOON SOUND SERVING THE NAME OF THE NAME O

JUS登録状況(県内) KAランク 87%、J KAランク 87%、J K登録 R2年4月: B者登録 R2年4月: \cdots L本Bラン 270社 1,149人 \succ \Downarrow R7年 R7年 \rightarrow \rightarrow 国国 0-ເນັ້ຜັ 572社 310人

RS 環 ¹価状況】。 入札参加 入札参加 入札参加 小

八唇唇 (合料の2) 数数 (土) 数数 (土) EKK. $\neg \neg D$ **√**∞ **□** 型表现 2008年 2007年 2007年 拔拔端端端端 全 の数のの調像がの、一般なのでは、一般などのは、まなりでは、まなりのできません。 当点户 業業 数数 ω N なな 00ωω %%

【システム活用状況】: 現場登録している企業 就業履歴蓄積している① 心 潜 ō 3年4月 70社 26社 小 活 \neg 1年1 Ш \vee 凩 認合 ᅄ

企業

現状分析

- 【分析結果】 CCUSは周知が図られ、一定水準の基本登録は確認されて 加点目的のため、就業履歴の蓄積等のシステム活用を実施 評価方式による企業登録数は、頭打ちの状況 登録している状態であっても加点を受けない会社が存在
- こころ 業は ſΙ \wedge

- 【課題】 ・登録だけでは、(・技能者の就労環! CCUS 湾を 郊内町 黒に をし 章の 6N J きが で で 企業 登録だけ d ď 법 〗 Q Ø 炭 川 7 な U \forall S

- 【改定案】 <u>評価の発展的な解消</u> ⇒モデル工事へ(R7.4月)
- 7 ctt
- 海型型 经自自 項目の設定から5年が経過し、事業方式ではこれ以上の新規登録が多く性のある施策として、令和6年7月 湾、技能者、 、見込めない。 引から活用モニ $\overline{\Gamma}$ 卍 の基本 急 意録が進 2 **ふまり、**
- Ĥ 実施 ところ

今後の方針

(近年評 R3.4月 R6.4月 価解消項目) ボランティア活動の実績 週休2日制適用工事の宣 劃幅

【今後の予定】 DR7 モデル: ル工事の拡大



(P31) 改 定 後 R7.4.1 (修定箇所は赤字表示)

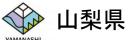
様式1-1 (総合評価の種類を表示)

総合評価落札方式による発注予定箇所一覧 (施工体制評価型は型式名を、災害復旧工事は「災害」と表示する)

_				総合評価各種	作し ノリ -	いいしゅる)) E/	± 1	'	.固)	<i>I</i>	_,	.			一	1 1	一						古1友	.10.	上 寻	- 10	'火	- 1	<u> </u>	又小、	y ත,	<u>, </u>			令和〇〇年	手度	
							l			評価項目及び配分点 企業の「技術力 企業の信頼性社会性 高度な技術力														-	\vdash	-												
								-		_	Т					_			金 綾 施	RØ .				_				$\overline{}$		- 0.7				-				
					um 32		Dot	JH.	5I#	. 	ac	(直下)	定技術	# E	アリング	7 1E3	業の別	<u>¥</u> ⊥	被炮	Ŷ.	_	-	_		地地	貢献	*	TE .	業の取	\rightarrow		技術提案		1				
NC	執行所属 (所轄所属)	工事名	工事留所	工事概要	概 算 工事要 (百万 円)	入札方式 (総合評価 の種類)	算点の満点	工程管理	施工上の課題	放工上の配 が	技術者の資格	同種工事の実績		継続数育 専門技術力	風解度・取り観み姿勢	筆	工事成績 (1)		I S O 認証取得	10 年 10 年 10 日 10 日 10 日 10 日 10 日 10 日	技能者の記置状況機械の配置状況	I	本店	災害協定	防疫対策協定	維持管理業務委託	耕作放棄地等解消	若手技術者の育成	-技能者の登録	新規雇用の実績	支 コ 町 ス 昆 ト	家自上に関する核構模的自上に関する核構模	に関する	솜 타	学識経験者の意見		備考	
Г							選択		- -					0 -		- 0	00		0	5	- -) -	00) -	- 0	φ	0	-	0	0	21項目	落札者決定時の意見耶		II	
				トンネルエ L=Om、W=Om 概則方式 NATM工法			-2.0					П		T		2	4 3	i i	1		- -	3	1 2	2	-	1 1	-	- 2	2	1					取: 要 · 不要	易・やや難・難判定	がや難	
1	〇〇課 (〇〇事務所)	〇〇トンネル 建設工事(一部債務)	00市00町△△炝内	内空所面 A=Om2 程エコンクリート V=Om3 インパートコンクリート V=O	1500	一般競争入札 (標準型) (WTO型以外)	40 <u>e</u>		- -		-	8	3 12	3 -		- 2	4 3	i i	1 :	3	- -	3	1 2	2	-	1 1	-	- 2	2	1	-	50	50	203点		3者JV		
				m3												2	4 3	x x	1		- -	3	1 2	2	-	1 1	-	- 2	2	1								
					\Box		選択	- 0	<u> </u>	0 -	- -	0		0 -	- -	- 0	00		0	5	- -	0	00	0) -	00) <u>-</u>	- 0	φ	0	-	-	-	21項目	落札者決定時の意見限	難易度	ш	
2	00課 (00事務所)	〇〇線橋梁工事	00市00町△△地内	橋梁下倒工 逆T式橋合2基	120	一般競争入札 (簡易型)		- 1	0 –	10 -	-	2	1 4	1 -		- 2	4 3	(規 : : :	1	1	- -	3	1 2	2	-	1 1	-	- 2	2	1	-	-	-	53 <u>m</u>	取:	易・やや難 ・難判定	やや難	
							選択		- -		- -		- -	- -	- -	- 0	00		0 0	5	- -	0	- 0	00) -	00	<u> </u>	- 0	φ		-	-	-	14.獎8	落札者決定時の意見限	難易度	п	
3	〇〇事務所 (〇〇事務所)	□□粮道路衣良工事	△△市××地内	進略教良 L=100m W=5.5(7.0)m	80	一般競争入札 (特別簡易型 (I))	20点				- -	-	- -	- -		- 2	4 3	. H.	1	1	- -	3	- 2	2	-	1 1	-	- 2	2	1	-	-	-	24点	取:	易・やや難 ・難判定	やや難	
\vdash					_		選択	+	+	+	+	Н	+	+	H			1	0 0	+	+	0.	_		+	00	Н				_	_	+			難易度	 	
						一般競争入札	項目	-11-	1	-11-	#				1-1-	- 0	00	44	9	7		М.	- 10	M	4-		4-1	- 0	Ψ	М	-	_	-	14項目	落札者決定時の意見期 で:	黒・やや難	やや難	
4	〇〇事務所 (〇〇事務所)	□□粮道路衣良工事	△△市××地内	道路歌良 L=30m W=5.5(7.0)m	35	(特別簡易型 (I))	15点		- -		- -	-	_ _	- -		- 2	4 3	(15	1	1	- -	3	- 2	2	-	1 1	-	- 2	1	1	-	-	-	24点	要・不要	・難判定		
							選択 項目																											0.00	落札者決定時の意見限	難易度		
s																																		0.5	取: 要·不要	易・やや難 ・難判定		
							選択項目								П																			0.00	落札者決定時の意見期	難易度		
б																																		0.5	取: 要 · 不要	易・やや難 ・難判定		

必要な説明図面を添付すること

学 識 経 験 者 氏 名	意 見 聴 取 日
	令和 年 月 日
	令和 年 月 日



改 定 後 R7.4.1

改 定 前 R6.4.1

(P1)

(審査及び協議)

第7条 本庁の事業主管課長又は出先機関の長(以下「発注機関の長」という。)は、総合評価落札方式のうち、標準型及び高度技術提案型により入札を実施しようとするときは、事前に実施対象工事の適否及び「落札者決定基準」について、各部局の技術審査会設置要領に基づき設置した技術審査会(以下「技術審査会」という。)の審査を受けるとともに、各部局長(以下「部局長」という。)に協議するものとする。

(P1, 2)

(学識経験者の意見聴取)

- 第8条 部局長は、政令第167条の10の2第4項の規定に基づき落札者決定基準を定めようとするときは、学識経験者から様式2号により意見を聴かなければならない。
- 2 部局長は、政令第167条の10の2第5項の規定に基づき、前項の意見聴取時に落 札者を決定しようとするときに改めて意見を聴く必要があると意見が述べられた場合は、 落札者を決定しようとするときに、学識経験者から様式4号により意見を聴かなければ ならない。
- 3 部局長は、前2項の規定に基づき意見聴取を行ったときは、発注機関の長に回答する ものとする。
- 4 地方自治法施行規則(昭和22年省令第29号)第12条の4の規定に基づき、意見を聴くときは、学識経験者2名以上から意見を聴くものとする。

(改定理由)

標準型・高度技術提案型の意見聴取事務手続きについて、簡易型・特別簡易型の手続き方法に統一し事務の簡素化を図る

(P1)

(審査及び協議)

第7条 本庁の事業主管課長又は出先機関の長(以下「発注機関の長」という。)は、総合評価落札方式のうち、標準型及び高度技術提案型により入札を実施しようとするときは、事前に実施対象工事の適否及び「落札者決定基準」について、各部局の技術審査会設置要領に基づき設置した技術審査会(以下「技術審査会」という。)の審査を受けるとともに、様式1号により各部局長(以下「部局長」という。)に協議するものとする。

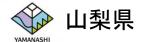
(P1, 2)

(学識経験者の意見聴取)

- 第8条 部局長は、政令第167条の10の2第4項の規定に基づき落札者決定基準を定めようとするときは、学識経験者から様式2号により意見を聴かなければならない。
- 2 部局長は、政令第167条の10の2第5項の規定に基づき、前項の意見聴取時に落 札者を決定しようとするときに改めて意見を聴く必要があると意見が述べられた場合は、 落札者を決定しようとするときに、学識経験者から様式4号により意見を聴かなければ ならない。
- 3 部局長は、前2項の規定に基づき意見聴取を行ったときは、発注機関の長に様式第3 号または様式5号により回答するものとする。
- 4 地方自治法施行規則(昭和22年省令第29号)第12条の4の規定に基づき、意見を聴くときは、学識経験者2名以上から意見を聴くものとする。

改 定 後 R7.4.1	改 定 前 R6.4.1
(P23)	(P23)
	様式 1号
	○ 第 号 令和 年 月 日
	県 土 整 備 部 長 殿 本課執行および県土整備部以外の執行:各事業課長
	事務所執行:各出先機関の長
	総合評価落札方式による発注方法について(協議)
	当所において発注予定の工事について、総合評価落札方式を活用することと したいので協議します。
様式削除	注)添付するものは、様式1-1又は様式1-2、説明図面とする。 ただし、WTO型の場合、様式1-1を様式1-3とする。
	6

改 定 後 R7.4.1	改 定 前 R6.4.1
(P25)	(P25)
	様式3号 〇 〇 第 号 令和 年 月 日
	本課執行及び 県土整備部以外の執行:各事業課長
	事務所執行:各出先機関の長 殿
	県土整備部長
	総合評価落札方式による発注方法について (回答)
様式削除	令和 年 月 日付け第 号で協議のありましたこのことについて、学職経験を有する者に意見聴取しましたので、別添総合評価落札方式協議結果を尊重のうえ実施してください。
	注)添付する審議結果表は、様式1-1又は様式1-2とする。 ただし、WTO型の場合、様式1-1を様式1-3とする。
	7



改 定 後 R7.4.1	改 定 前 R6.4.1
(P27)	(P27)
	様式5号 ○ ○ 第 号 令和 年 月 日
	本課執行及び 県土整備部以外の執行:各事業課長
	事務所執行 : 各出先機関の長 殿
	県土整備部長
	総合評価落札方式による評価結果について (通知)
様式削除	令和 年 月 日付け第 号で協議のありました工事の総合評価 の結果について学識経験を有する者の意見を聴取した結果については、別添総 合評価落札方式に関する評価調書のとおりです。
	注)添付する総合評価落札方式に関する評価調書は、様式4-1又は 様式4-2とする。 ただし、WTO型の場合、様式4-1を様式4-3とする。
	8